

2 特定中山間保全整備事業及び農用地総合整備事業

○ 事業完了後の評価の実施

【第1-3-(2)-ア】

要旨

平成28年度は、2区域(郡山区域、安房南部区域)の完了後の評価を実施し、2区域(南丹区域、黒潮フルーツライン区域)の完了後の評価に係る調査業務(社会経済情勢の変化等に関する基礎的資料の作成を含む。)を実施した。

(1)-1 完了後の評価(郡山区域、安房南部区域)

以下の評価結果を取りまとめ平成28年8月に公表した。

【事業完了後の評価の状況】

1. 郡山区域

- ①関係市町村 福島県郡山市、田村郡三春町
- ②総事業費 96億1,600万円
- ③事業内容 区画整理64ha、暗渠排水105ha、客土3ha、農業用道路11.7km

表 完了後の評価結果の概要

効果の発現状況	<p>郡山区域農用地総合整備事業は、狭小な農地の区画整理、山間部の湿潤地帯の暗渠排水、耕作土壌の改善を図る客土並びに農産物集出荷施設等を結ぶ農業用道路の整備を総合的に実施し、高生産性農業の推進や農産物流通の迅速化を図ることにより、地域農業の経営の安定化に資することを目的として実施されたものであり、以下の効果がみられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①農用地整備により、農作業機械の利用が容易となり、農作業が効率化 ②農地の集積や農作業受委託が可能となり、営農の継続が図られ耕作放棄地の防止に寄与 ③営農資材や農作物などの輸送が効率化 ④農業用道路の整備により、地域資源を活かした観光や農業農村体験等の都市住民との交流に寄与
技術検討会の意見	<p>本区域では、東日本大震災及び東京電力福島原子力発電所事故の発生により、農業生産や観光等にさまざまな影響を受け、現在も米の全量全袋検査が実施されるなどの対応が継続されている。そのような状況の下、本事業により整備された農用地や農業用道路は、農業生産の安定化並びに多様化、農産物流通の改善に主に寄与することで農業者の営農意欲を向上させ、震災・原発事故からの速やかな回復と復興に大きく貢献している。</p>



丹伊田団地(区画整理)



農業用道路3工区

2. 安房南部区域

- ①関係市町村 千葉県館山市、鴨川市、南房総市、安房郡鋸南町
- ②総事業費 186億円
- ③事業内容 区画整理135ha、農業用道路11.4km

表 完了後の評価結果の概要

効果の発現状況	<p>安房南部区域農用地総合整備事業は、狭小な農地の区画整理並びに地域内の基幹的な農業用道路の整備を総合的に実施し、都市近郊としての立地条件を活かした農業の産地形成と農畜産物の流通網の確立を図り、地域農業の活性化に資することを目的として実施されたものであり、以下の効果がみられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①区画整理により、狭小で不整形なほ場が整備され、耕作道や進入路が整備されることにより、機械の利用が容易となり、ほ場作業が効率化 ②農業用道路の整備により、沿線や終点地域からの花卉等の出荷について、トラック輸送の高速化・大型化に貢献 ③いちごやいちじく等の観光農園の拡大・新設がみられるとともに、有志農家による活動組織が設立され、都市住民との交流が活発化
技術検討会の意見	<p>本事業により整備された農用地や農業用道路は、地理的条件を活かした産地形成と農業生産の安定化、農産物流通の改善に寄与し、地域の活性化に貢献するものと評価できる。</p>



いちご農園(区画整理:大戸団地)



農業用道路3工区

(1)－2 技術検討会委員

表 平成28年度事後評価 技術検討会の委員

氏名	専門分野	所属等
浅野 耕太	環境経済	京都大学大学院 人間・環境学研究科 教授
飯田 俊彰	農業土木	東京大学大学院 農学生命科学研究科 准教授
橋本 禪	農村計画	東京大学大学院 農学生命科学研究科 准教授
【郡山】 岩崎 由美子	地域社会	福島大学 行政政策学類 教授
【安房南部】 須藤 陽子	地域農業	(株)須藤牧場 専務 (農林水産省獣医事審議会 委員)

(2)－1 完了後の評価に係る調査業務(南丹区域、黒潮フルーツライン区域)

以下の調査を実施した。

表 完了後の評価に係る調査	
項目	実施内容
① ヒアリング調査	事業による地域の変化を捉えるため、営農状況等を関係県、関係市町、JA、農家等へ聞き取り。
② アンケート調査	整備した農用地や農業用道路の利用状況、効果の発現状況等を把握するため受益者にアンケートを実施。
③ 作付調査	整備した農用地の作付け状況を調査(春と秋)。
④ 交通量調査	農業用道路の一般交通の通行量を把握するため、交通量調査を実施(平日、休日の2日間)。

(2)－2 技術検討会委員の調整

表 平成29年度事後評価 技術検討会の委員		
氏名	専門分野	所属等
浅野 耕太	環境経済	京都大学大学院 人間・環境学研究科 教授
飯田 俊彰	農業土木	東京大学大学院 農学生命科学研究科 准教授
橋本 禅	農村計画	東京大学大学院 農学生命科学研究科 准教授
【南丹】 寺阪 明美	地域農業	農業生産者グループ アグロスの会
【黒潮フルーツライン】 岩本 恵子	地域振興	みなべ町商工会 理事 みなべおかみ元気会 会長
【阿蘇小国郷】 穴見 まち子	地域振興	小国町議会 議員

【事業完了後の状況】

1. 南丹区域

- ①関係市町村 京都府南丹市、船井郡京丹波町
- ②総事業費 264億円
- ③事業内容 区画整理37ha、暗渠排水135ha、農業用道路22.1km



黒大豆の栽培(区画整理:竹野団地)



農業用道路 園部八木線1工区

- 区画整理や暗渠排水の実施により、農業機械の利用が容易となり、ほ場作業が効率化。
- 農業用道路の整備により、農業機械の運搬が容易となり、広域的な通作の負担が軽減。
- 農産物や農業資材等の運搬が容易となり、農産物等流通の改善に貢献。
- 区画整理を行った団地において、黒大豆の収穫体験、交流農園の開設がみられ、都市農村交流に貢献。
- 農業用道路は、大雨時に国道・府道の迂回路となるなど、日常生活においても効用を発揮。

2. 黒潮フルーツライン区域

- ①関係市町村 和歌山県日高郡印南町、みなべ町
- ②総事業費 223億円
- ③事業内容 区画整理53ha、暗渠排水64ha、農用地造成27ha、農業用道路11.4km



宮ノ前団地(区画整理)



農業用道路2工区

- 区画整理により、ほ場が整備され耕作道や進入路が整備されることにより、機械の利用が容易となり、ほ場作業が効率化。
- 暗渠排水により、排水不良が改善され花卉や野菜の作付けの多様化に貢献。
- 農用地造成により、特産品の「南高梅」の作付け規模の拡大に貢献。
- 農業用道路の整備により、農産物流通の改善に貢献。

3. 阿蘇小国郷区域

- ①関係市町村 熊本県阿蘇郡南小国町、小国町
- ②総事業費 137億2,400万円
- ③事業内容 区画整理117ha、暗渠排水24ha、用排水路整備20km
農林業用道路23.2km、林地転換1.2ha



万成団地(区画整理)



基幹農林業用道路

- 区画の整形・拡大が図られ効率的な機械作業が可能となり、営農労力が軽減。また、飼料用稲等の作付による粗飼料供給が進み耕畜連携に寄与。
- 集落営農組織が設立され、農地の集積や農作業の共同化が進展。
- 農業用道路により、大型車の通行が可能となり農産物の集出荷施設等への輸送時間や木材の運搬時間が短縮。また、農地や林地までの移動時間が短縮。
- 農業用道路の整備を契機に沿線の県営農地開発事業で造成した農地に企業が参入し、耕作放棄の防止に貢献。
- 農家にホームステイし農林業体験学習を行う等の都市農村交流が活発化。